

コロナ禍 による2度目の緊急事態宣言… 今、私たちができる「つながり様式」を考える

新型コロナウイルスの影響が長期化し、岡山県内も5月16日から2度目となる緊急事態宣言が発令され、これまで以上に感染予防とリスクの回避が求められています。

一方、自粛生活が続くなかで懸念されるのが、体力や気力の低下や情報の不足、地域での孤立化等です。「通いの場」は楽しさや健康づくりだけでなく、日常の居心地の良い空間で繰り広げられる交流が、住民の孤立を防ぎ、情報や支え合いを地域全体に広げていくという効果もあります。

今回は、「新しい生活様式」が求められているなかで、私たちができる「つながり様式」の一例をご紹介します。

会えないなかでも、喜んだりや気になることを届けあう

こんな方におすすめ!

「つながる回覧」

- みんなの今の暮らしが気にかかる。
- おしゃべりのような交流を続けたい。

みんなが会えない時だからこそ、**回覧板**と**交換日記**を一つにした「つながる回覧」を活用してみてもいいでしょうか？ メンバーに今の近況を書き込んでもらって次へ次へ回します。会えない日々が続いていても、どこか懐かしい交換日記が心と暮らしをつなぎます。

「つながる回覧」やってみました!

昨年、緊急事態宣言が出て、私たちのサロンが自粛している間に「つながる回覧」に取り組みました。30人のメンバーを3つのグループに分けて行ったところ、すごいスピードでびっしりと記入された回覧が返ってきました。それだけみんな情報やつながりに飢えていたことがわかりました。自粛期間中もつながりを続けていたのでスムーズに再開ができ、自然な交流が続いています。



サロンサカツ・元気サロンサカツ
代表 藤井 康演 さん

4月30日(木) **書き方見本** 氏名:松岡 武司

わたしの近況
元気で 変わりなし 体調不良()
さみしい ※該当する項目にチェックを入れて下さい
 【自由記入欄】サロンがしばらく開催できていないので少し寂しいです。先週の土曜日に庭先にテントを設置して、家族で自宅キャンプを楽しみました。思った以上に楽しめました。早く、サロンが再開し、皆さんの笑顔に会えるのを楽しみにしています。

暮らしのひと工夫
 家にいる時間が多いため自宅で手づくりマスクづくりに挑戦中。ついつい作りすぎちゃったので、欲しい方はご一報ください。

心配なこと
 いつもサロンに来ていた松本のおじいちゃん。一人暮らしで、「腰が痛い」と言っていたけど大丈夫かしら？何か私たちでできることはないかな？

※上の近況等を読んだ感想を正の字で書いていきましょう。

みんなの反応
 うれしい! 楽しい! びっくり! 残念... 心配...
正 下 - 残念... 心配...

お返事記入欄
 ・自宅キャンプ楽しそう！落ち着いたら外でみんなて、ごはんを食べるイベントをしたいですね。(山本)
 ・心配してくれてありがとう。体調は相変わらずだけど、腰が痛いから買い物を代わりにしてくれる人がいてくれたら助かるなあ。マスク分けてもらえるの嬉しい。(松本)

一人ずつ最近の近況を書き込みます。字を書くことが苦手な方は、チェックだけでもOKです。

工夫をしていること、夢中になっていることなどを記入。

気持ちが沈んでいたり、困っていることはここに記入して「助けられ上手」になりましょう。

記入した日記を読みながらその感想やお返事を書いて共有します。

つながる回覧の用紙は
社会福祉協議会にご用意しています

※ホームページからもダウンロード可能です



集えないうかでの困りごとの発見や見守りを支援
ごきんじよ

こんな方におすすめ!

互近助パントリー

- ・困りごとが抱えきれなくなってきた
- ・暮らしに困っている人をできる範囲で支えたい

地域でのつながりや交流の場が自粛を余儀なくされるなか、仕事や、子育て、暮らしの悩みなど、ちょっとした困りごとも一人では抱えきれない悩みに膨らんでしまうことも...

互近助パントリーは、食材や生活雑貨を地域の身近な拠点に保管して、地域に応じた方法で活用し「互いに近所で助け合う」新しい支え合いの仕組みです。

社会福祉協議会が受け取ります

地域のつながりづくりや支え合い活動に活かされる食材や生活雑貨の提供者を募集しています。

(米・保存食品・乾物・調味料・お菓子・生活雑貨等)



【設置状況】

- ・市内32か所に互近助パントリーを設置(令和3年5月18日現在)
- ※倉敷9か所・水島8か所・児島3か所・玉島5か所・船穂1か所・真備6か所

【設置拠点】

- ・法律事務所・子育て支援拠点・子ども食堂・地区社会福祉協議会・障がい者就業支援作業所・地域交流拠点・喫茶店・被災者支援拠点・地域ボランティア等

食材や生活雑貨を活用して交流や支え合い活動を行うサポーターも募集しています!

様々な支え合いに活用しています!



困りごと支援



子ども食堂



子育て支援



地域交流

※互近助パントリーへの食材等の提供や設置・受取り等に関するお問い合わせは倉敷市社会福祉協議会地域福祉課まで(434-3301)

地域のつながる場づくり・支え合いを応援

生活支援コーディネーター

こんな方におすすめ!

- ・他のサロンの情報を知りたい
- ・今後の活動を一緒に考えてほしい

生活支援コーディネーターは支え合いのある元気な地域を応援するために社会福祉協議会に配置された職員です。「元気な地域」に欠かすことができないサロン活動などの「通いの場」の情報発信や立ち上げ・運営支援も私たちの大切な業務の一つです。

今だからこそできるつながり方やこれからのに向けた集い方などを一緒に考えさせてください!

※これまで発行した下記のガイドブックもぜひご活用ください!

(社協窓口での冊子のお渡し・倉敷市社会福祉協議会ホームページからのダウンロードが可能です)

通いの場ガイドブック第二版 「毎日がかようび」

様々な通いの場の事例やサロンの一覧を掲載



長沢(倉敷地区) 水野(児島地区) 阪本(水島地区)



松本(玉島地区)

松岡(全市域)

山本(船穂・真備地区)

地域共生ガイドブック 「△(参画)は○(えん)になる」

支え合い事例と暮らしの困りごとの相談支援窓口を紹介



問い合わせ先

倉敷市社会福祉協議会 地域福祉課 倉敷市笹沖180番地 ☎086-434-3301